

オプトアウト

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題(研究番号)	日本における真性多血症および本態性血小板血症患者の臨床像、生命予後およびイベントリスクに関する他施設後方視的研究 JSH-MPN-R18 ver1.2
当院の研究責任者(所属)	鐘野 勝洋(血液内科)
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者(所属)	実施責任:日本血液学会 研究代表者:小松 則夫(順天堂大学医学部内科学血液学講座)
研究の目的	我が国における骨髄増殖性腫瘍(MPN)の内、真性多血症(PV)、本態性血小板血症(ET)患者の臨床像、実臨床での治療実態を把握し、生存率、イベント発生率、及びその発症に影響を及ぼしたと考えられるリスク因子を調査することを目的とします。
対象となる調査期間	2005年4月1日～2018年3月31日
対象となる患者様	上記期間に当院を初診した、20歳以上の、WHO分類第4版(2008)もしくはWHO分類改訂第4版(2017)の診断基準を満たした真性多血症及び本態性血小板血症の患者。
使用する情報、試料等([○]の項目を利用します)	[]血液、[]唾液、[]毛髪、[]病理組織、[]排泄物(尿・便)、 [○]診療記録、[○]臨床検査データ、 []その他(空白に記載)
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	個人情報を削除した上で、上記情報を日本血液学会へ提供します。
研究期間	倫理委員会承認日から2020年9月30日まで
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。

申請日 2019年10月24日

入力者 鐘野 勝洋

終了日

入力者

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい
HP掲載を終了します。